

学校生活において配慮すべきこと（モデル案） 一宮市立丹陽南小学校

登校前 ☐健康チェック（家庭で Google フォームの「健康チェック」を送信）
☐集合場所・通学団（大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1列で並び）

登校	☐ 手洗い ☐ 水分補給 ☐ 自席につく（席配置の工夫） ☐ 窓を開ける	☐ 可能な限り換気（廊下側と窓側を対角に開ける） ☐ マスク着用 ☐ 近距離で会話をしない ☐ 集まらない ☐ 咳エチケット ☐ 手洗い ☐ 適宜、扇風機を活用する ☐ エアコン使用時も換気 ☐ 目鼻口をさわらない	★マスクの着用 →身体的距離が十分とれないとき
南タイム 朝読書 朝の会	☐ 健康観察 ☐ 健康チェックカード回収（一部） ☐ 検温を忘れた子の検温 <全校で実施> ☐教員が確認しながら手洗い ☐手の消毒（水流し放し・学級毎などローテーション計画）		★常時換気が難しい場合 →こまめに（30分に1回以上）数分程度、窓を全開
12限	☐ 体育の授業では、マスクの着用は必要なし。 ※ただし、身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクがない場合は、マスクを着用する。 ・ボール・用具・器具等の使用前後の手洗い ☐ 次のような学習活動は控える ・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等 ・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏 ・近距離で活動する調理実習 ・体育で密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動		全ての場面での共通事項 ★次の3つの条件が重なる場を徹底的に避ける ①密閉空間であり、換気が悪い ②手の届く距離に多くの人がいる ③近距離での会話や発声がある
中間放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 水分補給		体調不良者の対応 ☆体調不良者との接触機会を減らす ☐ 職員が保健室へ引率 ☐ 基本的に保健室で対応 ☐ 体調不良者とけが人をエリア分けする（パーテーション、別室など） ☐ 職員室との連絡手段の確保（インターホン・携帯） ☐ ベッドは極力使用しない ☐ 発熱、体調不良者は帰宅させる ☐ 緊急対応は全職員で行う
34限			
給食	<全校で実施> ☐教員が確認しながら手洗い ☐手の消毒（水流し放し・学級毎などローテーション計画） ☐ 手の消毒 ☐ 全員前向き ☐ 配膳台・お盆消毒 ☐ 給食当番の健康チェック（担任） ☐ 大声での会話を控える ☐ 食事後の歓談時には必ずマスク着用 ☐ アレルギーのチェック		
掃除	☐ 換気 ☐ マスク着用 ☐ 掃除後に石けんで手洗い		
昼放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 水分補給		
56限	☐ 午後の健康観察		<その他> ☐ 職員健康チェック ☐ 基礎疾患のある子・教員の把握・対応の確認 ☐ 外部の人を校内に入れない（来校者名、体温連絡先の記入）
下校	☐ 通学団 （大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1列で並び）		
下校後	☐ 必要に応じて保健室や主に子どもが触れる場所の消毒		

帰宅後 ☐すぐに手洗い ☐健康確認 ☐不要な外出は避ける